

(様式2-1) 社会資本総合整備計画 事後評価書 (案)

1. 整備計画												
計画の名称	ふじのくに静岡県内の道路構造物(橋梁・トンネル等)の適確な維持管理の推進(防災・安全)											
計画の期間	令和元年度 ~ 令和2年度 (2箇年)	交付対象	静岡県、下田市、東伊豆町、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、熱海市、伊東市、沼津市、三島市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、清水町、長泉町、小山町、富士市、富士宮市、島田市、焼津市、牧之原市、吉田町、磐田市、掛川市、袋井市、菊川市、御前崎市、森町、湖西市、川根本町									
計画の目標	静岡県及び県内市町が管理する道路構造物(橋梁・トンネル等)の計画に基づく補修事業及び各種点検・計画策定を行うことで、適確な維持管理を推進する。											
計画の成果目標(定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> 橋梁長寿命化修繕計画で対策が必要とされた橋梁の長寿命化 「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013」に基づき、大規模災害発生時等の道路ネットワークの確保の推進 大型構造物の長寿命化対策の推進 トンネルの長寿命化対策の推進 上記指標のうち市町において該当するもの 											
定量的指標の定義及び算定式									定量的指標の現況値及び目標値			備考
									当初現況値	中間目標値	最終目標値	
									(H30末見込)	(一)	(R2末)	
① (県)	老朽化の対策が緊急的に必要な施設(橋梁)に対し、対策を実施した割合の向上								25%	—	30%	
②	「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013」に基づく重要路線等にある橋梁の耐震化率の向上								73%	—	76%	
③	老朽化の対策が緊急的に必要な施設(大型構造物)に対し、対策を実施した割合の向上								24%	—	55%	
④	老朽化の対策が緊急的に必要な施設(トンネル)に対し、対策を実施した割合の向上								21%	—	53%	
⑤ (市町)	老朽化の対策が必要な施設に対し、対策を実施した割合の向上								0%	—	33%	
全体事業費	合計(A+B+C)	17,976 百万円	A	17,857 百万円	B	0 百万円	C	119 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)		1%	
事業種別	主な交付対象事業	要素となる事業名(事業箇所)			事業内容(延長・面積等)			市町名	全体事業費(百万円)	備考		
道路		(国)150号 掛塚橋			修繕・耐震補強 N=1橋			磐田市	785			
事業数		(一)浜松御前崎自転車道線 潮騒橋			橋梁補修 N=1橋			掛川市	110			
240		(主)伊東修善寺線ほか			トンネル補修			伊東市ほか	260			
2. 事業の進捗状況 (○:計画期間中に完成 △:計画期間終了後に完成見込 —:その他(備考欄に具体的に記入(中止、未実施等)) (計画期間中に他の整備計画に移行したもので、 ●:本計画の期間中に完成 ▲:本計画の期間終了後に完成見込)												
計画の移行なし	○	69	△	0	—	0	備考	計画の移行あり	●	11	▲	160
3. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況												
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況												
<ul style="list-style-type: none"> [橋梁修繕] 橋梁長寿命化修繕計画に基づく点検において対策が必要と判断された橋梁を修繕し、対策実施率が8%向上したため、道路利用者の安全が確保された。 [橋梁耐震] 本計画では、修繕と合わせて耐震補強を実施する橋梁を対象に事業を実施し、緊急輸送路等の重要路線にある橋梁の耐震化率が5%向上した。 [大型構造物修繕] 大型構造物長寿命化計画に基づく点検において対策が必要と判断された大型構造物を修繕し、対策実施率が45%向上したため、道路利用者の安全が確保された。 [トンネル修繕] トンネル長寿命化計画に基づく点検において対策が必要と判断されたトンネルの修繕を実施し、対策実施率が58%向上したため、道路利用者の安全が確保された。 [市町事業] 中長期管理計画に基づく、点検・修繕を実施し、140要素中58要素の対策が完了し、対策実施率41%となり、道路利用者の安全が確保された。 												
II 定量的指標の達成状況		指標①(老朽化の対策が緊急的に必要な施設(橋梁)に対し、対策を実施した割合の向上)	最終目標値	30%	目標値と実績値に差が出た要因	[橋梁修繕] 計画的な事業執行により、目標値以上の対策を実施した。						
		最終実績値	33%									
		指標②(「静岡県地震・津波対策アクションプログラム2013」に基づく重要路線等にある橋梁の耐震化率の向上)	最終目標値	76%	目標値と実績値に差が出た要因	[橋梁耐震] 計画的な事業執行により、目標値以上の対策を実施した。						
		最終実績値	78%									

	指標③（老朽化の対策が緊急的に必要な施設（大型構造物）に対し、対策を実施した割合の向上）	最終目標値	55%	目標値と実績値に差が出た要因	[大型構造物修繕] 計画的な事業執行により、目標値以上の対策を実施した。
		最終実績値	69%		
	指標④（老朽化の対策が緊急的に必要な施設（トンネル）に対し、対策を実施した割合の向上）	最終目標値	53%	目標値と実績値に差が出た要因	[トンネル修繕] 計画的な事業執行により、目標値以上の対策を実施した。
		最終実績値	79%		
	指標⑤（老朽化の対策が必要な施設に対し、対策を実施した割合の向上）	最終目標値	33%	目標値と実績値に差が出た要因	[市町事業] 計画的な事業執行により、目標値以上の対策を実施した。
		最終実績値	41%		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況	<p>・鋼製の道路橋や横断歩道橋の塗装塗替え実施の際には、「ふじのくに色彩・デザイン指針（社会資本整備）」に則りグレーベージュなどの景観配慮色に塗り替えることにより、老朽化対策と合わせて公共空間のよりよい景観形成に寄与している。</p>				
4. 今後の方針等					
<ul style="list-style-type: none"> ・法定点検施設（橋梁、トンネル、大型構造物）の点検・修繕を、それぞれの中長期管理計画（個別施設計画）に基づき、着実に実施していく。 ・切迫する南海トラフ巨大地震に備えるため、修繕と合わせて実施する重要路線等における橋梁の耐震対策を引き続き推進していく。 ・老朽化対策を実施する全ての市町に対し、個別施設計画の策定が求められていることから、施設毎に個別施設計画を策定し、その計画的に基づき着実に修繕等を実施するよう指導していく。 ・なお、国の新規補助事業制度として令和2年度から「道路メンテナンス事業」が創設されたため、令和2年度以降、交付金事業から補助事業に移行して事業実施している。 ・引き続き、中長期管理計画に基づき、必要な点検・修繕について道路メンテナンス事業を活用し、施設の老朽化対策を推し進めていく。 					